

2026 第51回衆議院議員総選挙

医師連盟推薦候補全員当選



福岡1区
井上 貴博 氏
106,865 票
得票率 48.3%



福岡2区
鬼木 誠 氏
136,442 票
得票率 53.6%



福岡3区
古賀 篤 氏
132,247 票
得票率 53.9%



福岡4区
宮内 秀樹 氏
110,544 票
得票率 53.6%



福岡5区
栗原 渉 氏
144,014 票
得票率 57.5%

福岡市医連ニュース

福岡市医師連盟
福岡市早良区
百道浜1-6-9
委員長 菊池 仁志

第51回衆議院議員総選挙におきまして、福岡1区から5区の医師連盟推薦候補全員が当選を果たしました。日常診療の中、各候補の支援活動に尽力された皆様へ深く感謝申し上げます。

今回の選挙戦は、公明党との連立解消、突然の解散、真冬の短期決戦、そして「中道改革連合」の結成という政界再編の直後に行われたため、当初は選挙情勢が全く読めない極めて異例の展開となりました。しかし、私たちは、いかなる政治の枠組みになろうとも、地域医療の継続性を確保すべきであると考えのもと、一貫して各候補の支援を続けてまいりました。皆様がそれぞれの現場で守り続けてこられた「地域医療」への責任感が、今回の勝利の支えとなったことは間違いありません。

高市政権は、昨年末の段階で、物価高騰に直面する現場を支えるため、総額1兆円規模の「医療・介護等支援パッケージ」を閣議決定しました。これにより光熱費対策や賃上げ原資が確保され、さらに次期診療報酬改定においてもプラス改定が実現しました。こうした選挙前からの具体的な実績と姿勢が、私ども医療関係者のみならず、有権者の理解を得たものと分析しています。自維連立という新たな体制のもと、今後の医療政策は新たな節目を迎えます。だからこそ、現場の窮状を熟知する「福岡代表の5氏」が議席を守り抜いたことは、今後の政策立案において極めて重要な意味を持ちます。

今回の勝利は、決して楽観できる終着点ではありません。公約された支援策を確実に実行に移させ、私たちが地域医療を堅持できる環境を維持するための、新たなスタートラインです。当選した各氏には、現場の切実な声を国政へ反映させるべく、引き続き粘り強く働きかけてまいります。連盟員の皆様とともに、より実効性のある活動を展開していくことを誓い、御礼の挨拶とさせていただきます。

福岡市医師連盟委員長

菊池仁志